

価値創造の軌跡

NECは、創業から「ベタープロダクツ・ベターサービス」の精神で、情報通信技術 (ICT) により社会のインフラやミッションクリティカルなシステムを支えてきました。こうして培ってきた強みをもとに社会に価値を提供し続け、企業価値の持続的向上を実現していきます。

市場環境

1910年代、一般家庭にも電力が供給され、1923年の関東大震災後はラジオやテレビなどの情報通信が進展。第二次世界大戦後の1950年代は空前の高度経済成長期に突入、第二次産業の拡大により人々の暮らしが大きく変化しました。

1970年代には日本産業の主力が自動車・電機・エレクトロニクスなどへ移行し、産業構造の変化が加速。1990年代にはインターネットの普及により、セキュリティ基盤の整備が重要な課題に。グローバル化の加速により、国際競争が激化しました。

2000年代、FRB*の利上げを契機としたIT不況や、リーマンショックによる金融危機など、世界規模での不況により、日本経済も本格的なデフレに。一方、携帯電話やパソコン、インターネットの普及拡大により、人々の生活様式は大幅に変化しました。

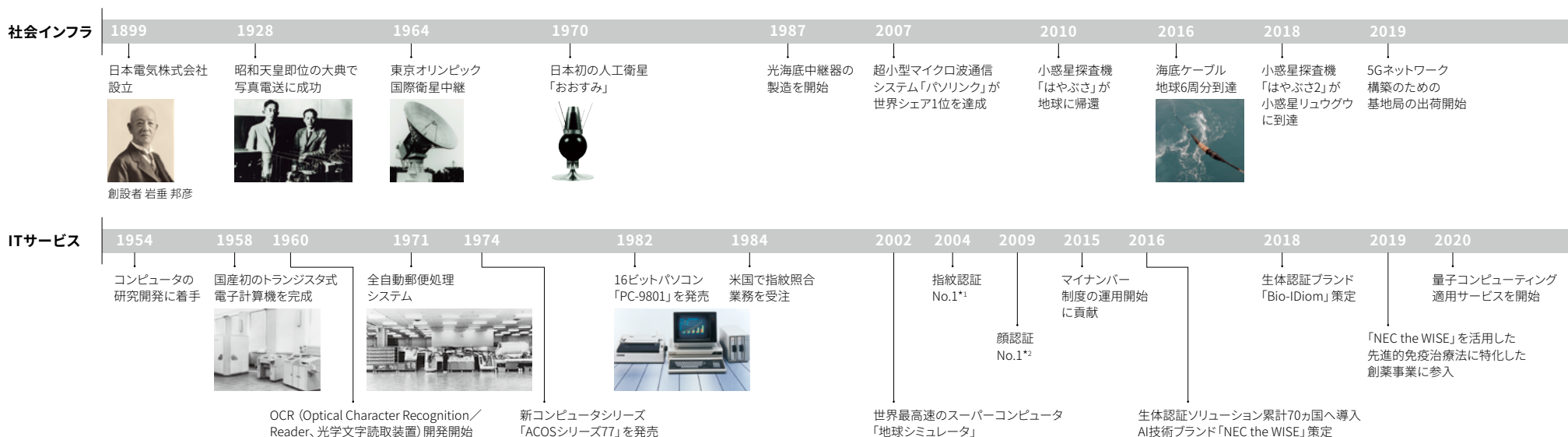
* FRB：米国の連邦準備制度理事会

NECの歴史

1899年 第一の創業
「ベタープロダクツ・ベターサービス」

1977年 第二の創業
C&C宣言：コンピュータと通信の融合

2013年 第三の創業
社会価値創造型企業への変革



*1 米国国立標準技術研究所 (NIST) 主催のベンチマークテストで第1位の評価を獲得

*2 NIST主催のベンチマークテストで第1位の評価を複数回獲得

※ NISTによる評価結果は米国政府による特定のシステム、製品、サービスを推奨するものではありません。

🌐 <https://jpn.nec.com/biometrics/face/history.htm>